

(別紙)

煙火消費場所状況チェックリスト(人工雪崩消費用)

消費目的:

令和 年 月 日

点検責任者名:

確認時刻 午前・午後 時 分

点検項目	内容	適	否	措置	点検者
消費場所の位置	保安距離は適正か。				
	煙火置き場、打揚場所、仕掛け煙火は配置図(申請)のと通りの位置か。				
筒の設置場所	打揚筒の設置場所の地盤が軟弱で発射振動により鎮火したり、傾く恐れがないか。				
	足場は滑りやすすくないか。傾斜地等無理な姿勢で姿勢で行うことはないか。				
筒の設置方法	筒は丈夫なロープ等により、2カ所以上堅固に固定されているか。				
	筒はきれいに掃除され、損傷、変形がなく、紙筒は吸湿等の異常はないか。				
煙火置場の場所	設置場所が軟弱、多湿の場合、下に枕木、木版等を敷く等の措置を講じているか。				
	打揚筒等の設置場所から20m以上離れているか。				
煙火置場の構造	消費中の煙火の出し入れ、火薬の計量等がある場合、煙火置場を設置しているか。				
	火の粉等が容易に侵入しない構造か。				
	テント張りの場合、その生地は難燃性で垂れは地面に十分達し、隙間はないか。				
	置場内は確実に蓋のできる容器で、かつ、厚手のシート等で十分覆っているか。				
	出入口は打揚筒等の設置場所と反対方向か。				
	車両を煙火置場とする場合、エンジンを停止し、車輪を固定させてあるか。				
	煙火置場の周囲名は「立入禁止」、「火気厳禁」等の警戒表示がなされているか。				
	船上での煙火消費で、筒から20m未満にある煙火置場には適切な防護措置をしているか。				
煙火玉・打揚煙火等	煙火玉の導火線の吸湿又は損傷はないか。また、煙火玉等に異常はないか。				
	打揚薬は規定どおり適量であり、適切な装填方法か。また、入れ忘れはないか。				
	打揚薬は吸湿してないか。				
	筒から20m未満での点火の場合、畳床等の防護措置がなされているか。				
	筒から5m未満での点火の場合、他の点火者の筒から2m以上離れているか。				
	煙火の収納容器の位置、ふた、覆い等の防護方法は適切か。				

点検項目	内 容	適	否	措 置	点検者
煙火玉・打揚煙火等	点火者の人数に十分対応した数か。また、申請書記載従事者に変更はないか。 電気点火の場合、配線、点火器の能力、全抵抗値について問題はないか。				
スターマイン	全体の重量を増し、杭、土のう等で全体を安定させているか。				
柵物等	固定は確実か。 滝、柵仕掛から20m以内での他の煙火を消費する場合、滝、柵仕掛から関係人は20mを超える距離を取っているか。				
小型煙火	周囲を緊縛し、固定されているか。				
運搬中	蓋、防災シート等の覆いを十分してあるか。				
火災予防等	事故が発生した場合の措置が定められ、徹底されているか。 消費場所の周囲に可燃物はないか。また、消火用水等が設置されているか。				
盗難防止	火薬類を存知している間の見張りは万全か。				
警戒体制等	申請通りに立看板、見張り人が配置されているか。				
	立入禁止区域内に人が入り込んでいないか。				
	警備本部と、打揚現場及び警備員との連絡手段が確保されているか。				